

コース	開講日	時 限	教 科	科 目 名	領域	担当者	シラバス	備考
必修領域	5月8日 (土)	1	教職についての省察並びに子どもの変化、学校の内外における連携協力についての理解に関する事項	教育の最新事情	必修	西村 史子	国の政策として、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた教育実践及び学校運営が目指されている。新学習指導要領の全面実施に加えて、GIGAスクール構想の加速により生徒「1人1台端末」の教育環境が整いつつある。「個に応じた指導」の充実を図り「他者と協働する能力を育成」するにはどのような指導力が教員に必要なのかを考えていく。	
	5月8日 (土)	2	教職についての省察並びに子どもの変化、学校の内外における連携協力についての理解に関する事項	共生社会への指導体制	必修	西村 史子	子ども達の多様性を受け止め、個々に配慮する学習指導が特に課題となっている分野に、障害児童生徒への特別支援教育や外国人児童生徒への教育等がある。幼児教育から高校教育を通して、共生社会の理念を踏まえた指導体制の改善が図られている中で、あらためて教員の資質・能力や専門性を問い、「多様な他者と協働する学び」のあり方を検討する。	
	5月8日 (土)	3	教職についての省察並びに子どもの変化、学校の内外における連携協力についての理解に関する事項	指導の協働、学習の協働	必修	西村 史子	「社会に開かれた教育課程」の編成、その実施や改善のための「カリキュラム・マネジメント」が学校現場に求められ、また成年年齢18歳への引下げによる主権者教育や消費者教育の重視に伴い、関係諸機関、地域社会や保護者との実質的な連携協力関係を進めて、生徒が多次元で実社会に繋がる学習が期待されている。これを後押しする「地域学校協働本部」の設置政策や新規の学校職員の導入動向等を通して、教員が培うべき協働性/協働力を探求する。 ※筆記試験実施	
	5月8日 (土)	4	教職についての省察並びに子どもの変化、学校の内外における連携協力についての理解に関する事項	特別支援教育におけるアセスメント	必修	坂田成輝	発達障がいをはじめとした特別支援教育は、基礎的知識と、アセスメントに基づく児童・生徒・保護者への個別対応が欠かせなく、また、“チーム学校”として学内外組織との連携が重要である。しかしながら、正式な診断名を得て学校に情報を提供してくれるケースはまだ多くはないため、教師による“仮設”のアセスメントに基づく支援方法について理解を深めることをねらいとする。	
	5月8日 (土)	5	教職についての省察並びに子どもの変化、学校の内外における連携協力についての理解に関する事項	心理教育とカウンセリングマインド	必修	坂田成輝	昨今は、特別支援を要する児童生徒だけでなく、一般の児童・生徒も、LINEを筆頭にコミュニケーションの問題を抱えているケースが多い。ここで、教師による心理教育の具体例や“カウンセリングマインド”を行うに先立つての児童・生徒への心理学的理論および、効果的コミュニケーション技法を習得することをねらいとする。	
	5月8日 (土)	6	教職についての省察並びに子どもの変化、学校の内外における連携協力についての理解に関する事項	学校場面における実践	必修	坂田成輝	以上の講義に基づき、学校場面における実践について、事例に基づいて参加者による演習を行う。 ※筆記試験実施	

コース	開講日	時限	教科	科目名	領域	担当者	シラバス	備考
選択必修領域 A コース	5月9日 (日)	1	【選択必修A】 教育相談(いじめ及び不登校への対応を含む)	児童・生徒の心理的問題に対する理解と対応	選択必修	近藤伸介	生徒の抱え各種の心理的問題(発達障害・精神疾患も含む)について概観し、それぞれをどう理解すればよいのか解説する。小児期・思春期・青年期は精神疾患の好発年齢であり、この時期の支援の重要性についても説明する。	
	5月9日 (日)	2	【選択必修A】 教育相談(いじめ及び不登校への対応を含む)		選択必修	近藤伸介	「不登校」「ひきこもり」「いじめ」など学校で問題となる現象を取り上げ、その背景因子となりうる心理的問題・発達障害・精神疾患について併せて説明する。また支援に際して、学校・地域保健・医療・福祉・行政が連続体となっていくことの意義に触れる。	
	5月9日 (日)	3	【選択必修A】 教育相談(いじめ及び不登校への対応を含む)		選択必修	近藤伸介	人格形成の重要な時期であると同時に不安定な時期にもある児童・生徒に対して、学校でできる予防策、早期発見、対応法および連携のポイントについて述べる。 ※筆記試験実施	
	5月9日 (日)	4	【選択必修A】 教育相談(いじめ及び不登校への対応を含む)	ロール・プレイングに関する理解と実践	選択必修	安藤嘉奈子	ロール・プレイングの理論と方法について説明する。具体的には、ロール・プレイング(心理劇)の基礎概念、方法・技法、わが国への導入の歴史などについて取り上げる。	
	5月9日 (日)	5	【選択必修A】 教育相談(いじめ及び不登校への対応を含む)		選択必修	安藤嘉奈子	日頃の教育活動(学習指導・生徒指導・教育相談・学級経営)において活用できるロール・プレイングの方法について説明し、実際に演じる。2021年度の本講座の講習はオンライン形式となるため、個々の受講生がひとりで取り組めるロール・プレイングの方法を紹介する。	
	5月9日 (日)	6	【選択必修A】 教育相談(いじめ及び不登校への対応を含む)		選択必修	安藤嘉奈子	今回の講習で行われたロール・プレイングを総括し、意義や成果について振り返る。その後、 授業内試験 を行う。	
選択必修領域 B コース	5月9日 (日)	1	【選択必修B】 学校、家庭、地域の連携および協働 ― 特別活動・道徳教育と教育相談を中心に		選択必修	上岡 学	新しい学習指導要領における特別活動・道徳・総合的な学習の時間の内容について中学校を中心に概要と要点を示し、これまでの特別活動との違いを明らかにする。また、どのように学校・家庭・地域が連携できるかを探る。	
	5月9日 (日)	2	【選択必修B】 学校、家庭、地域の連携および協働 ― 特別活動・道徳教育と教育相談を中心に		選択必修	上岡 学	各学校での特別活動・道徳・総合的な学習の時間の実践を共有し、学校・家庭・地域の連携を含み、長所と課題を検討する。	
	5月9日 (日)	3	【選択必修B】 学校、家庭、地域の連携および協働 ― 特別活動・道徳教育と教育相談を中心に		選択必修	上岡 学	これからの特別活動・道徳・総合的な学習の時間のあり方を探る。まとめのテスト(30分)を行う。	
	5月9日 (日)	4	【選択必修B】 学校、家庭、地域の連携および協働 ― 特別活動・道徳教育と教育相談を中心に		選択必修	板橋 登子	児童期・思春期・青年期に起こりうる心理的危機やこころの問題・疾患について概説する。	
	5月9日 (日)	5	【選択必修B】 学校、家庭、地域の連携および協働 ― 特別活動・道徳教育と教育相談を中心に		選択必修	板橋 登子	学内での教育相談体制やスクールカウンセラーの活用について、および児童生徒や保護者・学校関係者が利用可能な専門機関の概要について説明し、連携のあり方について触れる。	
	5月9日 (日)	6	【選択必修B】 学校、家庭、地域の連携および協働 ― 特別活動・道徳教育と教育相談を中心に		選択必修	板橋 登子	思春期の子どもの理解と学内でのかわり、専門機関との連携について、架空事例を基にグループディスカッションを行う。そのディスカッションの内容をふまえて、授業内試験を行う。	

コース	開講日	時 限	教 科	科 目 名	領域	担当者		
家 庭	5月15日 (土)	1・2	家庭	家庭科教育の理念と その在り方	選択	川上雅子	カリキュラム・マネジメントの可能性としての家庭科と道徳、道徳教育はどのように かかわるべきなのか。歴史的過程を踏まえ、家庭科教育の理念を視座に洞察す る。また、同様に今般社会的課題となっているSDGsと家庭科の可能性も考えてゆ く。 ※筆記試験実施	
	5月15日 (土)	3・4	家庭	子ども・保育領域の 研究の視座	選択	小原敏郎	近年、子ども・子育てを取り巻く環境が大きく変化している。このような状況の中、 子どもの発達や保育・福祉の専門的知識、技能を習得できるように事例検討や演 習などを通して体験的に学べるようにしたい。 ※筆記試験実施	
	5月15日 (土)	5・6	家庭	家族・家庭領域の研 究の視座	選択	川上雅子	教科名となっている〈家庭〉一人間にとって家庭とはどのような意味をもつ 空間なのだろうか。家庭科の基礎概念としての家族・家庭・生活などについ てその本質を存在論的に考えてゆく。 ※筆記試験実施	
家 庭	5月16日 (日)	1・2	家庭	食生活領域の研究の 視座	選択	伊藤裕才	「食の安全」を担保するための食品衛生学について講義する。食中毒の原因となる 細菌・ウイルスおよび自然毒、そして寄生虫の性質を紹介し、その対策方法を解説 する。 ※筆記試験実施	
	5月16日 (日)	3・4	家庭	衣生活領域の研究の 視座	選択	村瀬浩貴	衣服に用いられている繊維の種類と性質の関係を理解することは、健康かつ快適 な衣生活の助けとなる。繊維の構造や性質の基本について解説し、最新の高機能 繊維の特徴などについても紹介する。 ※筆記試験実施	
	5月16日 (日)	5・6	家庭	住生活領域の研究の 視座	選択	藤本 麻紀子	個人・家族の生活の拠点である住まいには、人間の多様で複雑な「快さ」と、そこ での行動に「適した機能」が求められる。本講義では空間と人間の心理・行動との関 係について概説する。 ※筆記試験実施	

コース	開講日	時 限	教 科	科 目 名	領域	担当者	シラバス	備考
国 語	5月15日 (土)	1	国語	和歌を読む	選択	遠藤耕太郎	和歌研究の動向を踏まえながら、和歌を教室に開く方法を考える。	
	5月15日 (土)	2	国語	伊勢物語を読む	選択	遠藤耕太郎	物語文学研究の動向を踏まえながら、伊勢物語を教室に開く方法を考える。	
	5月15日 (土)	3	国語	源氏物語を読む	選択	岡田ひろみ	「源氏」の「物語」とは何か。源氏物語を読む難しさを確認しながら、「面白さ」への 繋げ方を考える。	
	5月15日 (土)	4	国語	女流日記を読む	選択	岡田ひろみ	紫式部日記を読むことで、「日記」、「歌集」、「物語」など、古典文学におけるジャン ルの問題を考える。	
	5月15日 (土)	5	国語	平家物語を読む	選択	原田 敦史	教室における平家物語の扱いを、「軍記物語」というジャンルのあり方との関わりか ら考えます。	
	5月15日 (土)	6	国語	筆記試験A	選択	原田 敦史	5月15日分の筆記試験。	
国 語	5月16日 (日)	1	国語	近代小説を読む (理論編)	選択	深津謙一郎	教室で小説を読むことの問題点を整理したうえで、それを乗り越えるひとつの方法 として、最新の文学理論に基づく〈テキスト論〉のあらましを紹介し、その可能性と限 界を考えます。なお、1限～3限では適宜クラス討議をまじえながら授業を進めま す。	
	5月16日 (日)	2	国語	近代小説を読む (実践編)	選択	深津謙一郎	語り、視点、プロット…など、〈テキスト論〉の成果をあてはめながら、「定番教材」を クラス全員で精読します。	
	5月16日 (日)	3	国語	近代小説を読む (評価編)	選択	深津謙一郎	2限の成果をふまえたうえで、もういちど、教室で小説を読むことの問題点を整理し 直し、同時に、〈テキスト論〉による読みの成果を教室でどう活かせるか(活かせない か)についてクラス全体で討議します。	
	5月16日 (日)	4	国語	説明的文章の 表現分析	選択	半沢幹一	現代国語における説明的文章の論理的な文脈のとらえ方について、最近の文章・ 談話研究の成果をふまえて、その手がかりとなる言語項目による具体的な方法を 紹介します。	
	5月16日 (日)	5	国語	文学的文章の 表現分析	選択	半沢幹一	現代国語における文学的文章(とくに詩歌)の理解・鑑賞を、表現自体のあり方をと おしてアプローチする具体的な方法を紹介します。	
	5月16日 (日)	6	国語	筆記試験B	選択	半沢幹一	5月16日分の筆記試験。	

コース	開講日	時限	教科	科目名	領域	担当者		
外国語（英語）	5月15日（土）	1	英語	Introduction/Learner Motivation	選択	Christopher Hoskins	Course Introduction & Overview, including self-introductions with an icebreaker activity, overview presentation, comments, schedule review and discussion, shifting to a focus on learner motivation, starting with instructor presentation and moving on to exercises, group discussion activities and session evaluation	
	5月15日（土）	2	英語	Learner Characteristics	選択	Christopher Hoskins	A close look at learner characteristics as pertains to EFL classes with instructor presentation, group discussion activities, exercises and session evaluation	
	5月15日（土）	3	英語	Real-Life Listening in the Classroom	選択	Lillian Swain	In principle, the objective of listening comprehension practice in the classroom is that students should learn to function successfully in real-life listening situations. Therefore, we will examine what real-life listening is, and what the listener needs to be able to do in order to comprehend successfully in various situations.	
	5月15日（土）	4	英語	Successful Oral Fluency Practice	選択	Lillian Swain	People who know a language are referred to as 'speakers' of that language, and so classroom activities that develop learners' ability to express themselves through speech are an important part of language learning. Yet it is difficult to design and administer classroom activities that develop learners' speaking ability, more so, in many ways, than to do so for listening, reading, or writing. What are the problems in teaching speaking, and what is meant by "an effective speaking activity"?	
	5月15日（土）	5	英語	Oral Presentations I	選択	Lillian Swain	For this session, you will be asked to recall a successful listening and/or speaking activity in the classroom that you have organized as a teacher or participated in as a student. What are the characteristics of this activity that make you judge it 'successful'?	
	5月15日（土）	6	英語	Oral Presentations II	選択	Lillian Swain	Share with your colleagues your experiences and reflections on the activity in a short presentation.	
外国語（英語）	5月16日（日）	1	英語	Writing & Critical Thinking	選択	Christopher Hoskins	Focus shifts to the relationship between writing and critical thinking with instructor presentation, group work and session evaluation	
	5月16日（日）	2	英語	Using English songs to energize young people and engage them with real language.	選択	Hasegawa Alison	In contrast to the textbook, English songs offer a chance to expose learners to authentic and natural English in a fun way while providing the opportunity to acquire not only vocabulary or grammar, but idioms and expressions too. They are short, can be added to any class as a warming-up or cooling-down activity and with the wide variety of songs easily available we can select one to suit any classes' specific language needs or interests.	
	5月16日（日）	3	英語	Using children's literature to spark meaningful communication and critical thinking among our learners.	選択	Hasegawa Alison	Picturebooks are not just for small children, but are a versatile authentic resource that can be used in numerous ways at any level. By planning intriguing pre-reading, during-reading and post-reading questions, a teacher can challenge learners to use critical and creative thinking, allowing the picturebook to become a springboard to real communication.	
	5月16日（日）	4	英語	Using poetry to express thoughts and feelings through English, and celebrate creativity in our classroom.	選択	Hasegawa Alison	Poetry is often thought of as something austere, difficult to create yourself and bound by many rules, but there are various styles of poetry we can introduce our learners to where they can create something easily to share with others and show their individuality and creativity. Using language in this way is fresh, fun and can appeal to students who don't shine in oral communication tasks.	
	5月16日（日）	5	英語	Presentations as way to communicate ideas and begin discussions.	選択	Hasegawa Alison	Presentations are a great way to get our learners thinking about various topics and being creative, but how can we develop presentations into whole group discussions and encourage questions? What criteria can we use for assessing presentations? The instructor will share her methods and experiences.	
	5月16日（日）	6	英語	Discussion/Conclusion	選択	Christopher Hoskins	The final session offers a course wrap-up, review, group reflection, pick-up of activities meriting further discussion and session evaluation	

コース	開講日	時 限	教 科	科 目 名	領域	担当者		
社会	5月15日 (土)	1	社会	「複眼的視点」の歴史教育における実践について―ドイツ、ヨーロッパの事例をもとに―(1)	選択	西山暁義	21世紀に入り、ヨーロッパではドイツ・フランス共通歴史教科書、ドイツ・ポーランド共通歴史教科書という2つの二国間歴史教科書が刊行された。第一部では、これらの共通歴史教科書が作成される過程とその特徴について考える。	
	5月15日 (土)	2	社会	「複眼的視点」の歴史教育における実践について―ドイツ、ヨーロッパの事例をもとに―(2)	選択	西山暁義	第一部をふまえ、第二部においては、「史資料から考える歴史」、資料における「立場性」をどのように授業のなかで有効に活用しうるのが、という問題について、2つの共通教科書の事例をもとに考える。	
	5月15日 (土)	3	社会	日本政治史における「民主主義」の概念(1)	選択	上田美和	①「民主主義」という概念～②日本近現代史上の具体的な出来事～③現在の「民主主義」をめぐる諸問題、という3点を架橋することを試みる。「日本史」という枠内にとどまらない科目横断的な視点を導入することによって、「考える」日本史に取り組みたい。	
	5月15日 (土)	4	社会	日本政治史における「民主主義」の概念(2)	選択	上田美和	①「民主主義」という概念～②日本近現代史上の具体的な出来事～③現在の「民主主義」をめぐる諸問題、という3点を架橋することを試みる。「日本史」という枠内にとどまらない科目横断的な視点を導入することによって、「考える」日本史に取り組みたい。	
社会	5月16日 (日)	1	社会	国際経済における「分業と交換」Ⅰ	選択	西村めぐみ	この講義では、まず、①国際貿易論における古典の貿易理論(リカードの比較優位論・ヘクシャー・オリー理論・特殊生産要素理論など)を概観し、貿易の自由化を推進することが、貿易に参加する全ての国の全体の経済規模拡大に寄与することを理解する。その上で、②貿易自由化を推進し、経済のグローバル化が進むことにより深刻化した問題(富の格差拡大・環境問題・サプライチェーンの脆弱性)にどう向き合うのか、解決方法の模索についても議論する。これらを議論することにより、グローバル化の背後にある経済学理論の理解だけでなく、現実世界で起きていることを把握し、考えるきっかけになることを目指す。	
	5月16日 (日)	2	社会	国際経済における「分業と交換」Ⅱ	選択	西村めぐみ	この講義では、まず、①国際貿易論における古典の貿易理論(リカードの比較優位論・ヘクシャー・オリー理論・特殊生産要素理論など)を概観し、貿易の自由化を推進することが、貿易に参加する全ての国の全体の経済規模拡大に寄与することを理解する。その上で、②貿易自由化を推進し、経済のグローバル化が進むことにより深刻化した問題(富の格差拡大・環境問題・サプライチェーンの脆弱性)にどう向き合うのか、解決方法の模索についても議論する。これらを議論することにより、グローバル化の背後にある経済学理論の理解だけでなく、現実世界で起きていることを把握し、考えるきっかけになることを目指す。	
	5月16日 (日)	3	社会	当日発表	選択	岡部正義	当日発表	
	5月16日 (日)	4	社会	当時発表	選択	岡部正義	当日発表	

コース	開講日	時 限	教 科	科 目 名	領域	担当者		
教育の情報化	5月22日 (土)	1	教育の情報化	教育の情報化の歴史	選択	谷田貝雅典	20世紀のSFでは未来の授業風景として、学習者が鉛筆を持たず各個人のPCに向かい、教師はチョークを持たず空中に浮いているモニターに教材を投影し授業する様子が描かれていました。21世紀に入り、このような情景の一部はすでに現実と化しています。本授業では、20世紀後半から現在に至る学校教育の変遷(黒板から電子黒板へ、CAIからeラーニングへ...)を概観します。	
	5月22日 (土)	2	教育の情報化	学校教育における情報危機およびその管理法について	選択	谷田貝雅典	現代の高度情報化社会における学校現場では、様々な情報危機(LINEはじめ、スマホカンニング、学籍データ流出、成績データ消失...)に直面しております。本授業では実際の事例を取り上げるとともに、皆さんからも学校現場で起こった危機に関して伝えられる範囲で発表していただきます。取り上げた実際の事例を参考に、対処法、予防策、防衛法などを分析し、学校現場における情報危機管理の方法を考察します。 グループ討論:学校教育における情報危機について(授業の後半にグループに分かれ、討論していただき、結果を発表していただきます。)	
	5月22日 (土)	3	教育の情報化	教育の情報化は必要か	選択	谷田貝雅典	現在の日本の学校現場では「校内でのスマホの利用は禁止」としているところが多数派です。一方で、ICTを活用した授業が推奨されております。こうした現状を踏まえ、日本の教育の情報化と世界の現状を概観し比較するとともに「教育の情報化」について整理します。 また、後半では、これまでの内容を踏まえ、教育の情報化は何であるのか、そもそも必要なのかについて、一緒に考えてゆきます。 グループ討論:教育の情報化は必要か(授業の後半にグループに分かれ、討論していただき、結果を発表していただきます。)	
	5月22日 (土)	4	教育の情報化	未来の教育環境と未来の授業について	選択	谷田貝雅典	近未来の教室におけるキーテクノロジー(PoTS映像学、立体映像通信、遠隔ロボット教師、人工知能...)の紹介と、未来の授業と教育環境について討論を交えながら一緒に考えてゆきます。また、新しいテクノロジーが教室に導入される際の問題点など負の側面も同時に考えます。一例として、現行のテレビ会議システムの問題点と、これを克服した視線が合い裸眼で立体視が可能なテレビ会議システム(現在私たちが研究開発中のプロトタイプ)について紹介いたします。	
	5月22日 (土)	5	教育の情報化	ICTを活用した指導案の検討	選択	谷田貝雅典	いくつかのICTを活用した授業例を参考に、グループでICTを活用した授業案を考えていただきます。 演習:ICTを活用した授業の共同考案(授業の後半にグループに分かれ、共同作業していただきます。)	
	5月22日 (土)	6	教育の情報化	試験(ICTを活用した指導案作成)	選択	谷田貝雅典	筆記試験:5限の検討結果を受けて「ICTを活用した指導案」を作成していただきます。	